



「脆弱を裂く」
作/須崎汐理



「bff」
作/横山千穂



「朝になる」
作/中村香耶



「corvo」
作/矢嶋留奈



「砂漠の窓室」
作/依原真帆



「浪漫飛行～足袋を履いて旅に出る～」
作/松本真咲

S.C.D.C.in金沢2019受賞作品

KANAZAWA DANCE THEATER

カナザワ ダンス シアター

金沢の春を巡るdanceの二重螺旋

S.C.D.C.in金沢とカナザワ ダンス シアター。
この二つのプロジェクトは日本洋舞連合と
(公財)金沢芸術創造財団の共催により隔年
交互に3月上旬の金沢で行われています。
S.C.D.C.in金沢は2007年に始まり、2017より
隔年開催となりました。

セルフ・コレオグラフ・ダンス・コンペティショ
ンの名称の通り、ダンサー自身が創作、振付を
して踊る“自作自演部門”と、自身は踊らずに
他者に創作、振付をして臨む“作家部門”の2
部門に分かれており、両部門を通じて優秀と
認められた作品が翌年のカナザワ ダンス シ
アターの出演権を得て、発表までの一年間の
間に受賞作のさらなる深化に努めることが求
められます。

カナザワ ダンス シアターは2018年より隔年
で開催され2020年3月に2回目の開催が予定
されていましたが、新型コロナウイルス感染症
の影響で12月に延期を検討しています。
2019年の受賞者たちに発表の場を提供する
ため何とか年内開催が実現できる様に努め
ているところです。

S.C.D.C.in金沢で自作の評価を問い、全国か
ら集ったダンサー、コレオグラファーを志す皆
とコミュニケーションを図り、同日開催される
ワークショップで楽しく新たなスキルを身に
つけ、翌年のカナザワ ダンス シアターに臨
む。そこで照明などの舞台演出への意識も高
めつつ、お客様の反応を真摯に受け止め、そ
して再びS.C.D.C.in金沢に挑む。このサイクル
が次代を担う舞踊家の育成に繋がり、さら
に次の世代の才能が金沢で芽吹くことと信じ今
後も継続に努めて参ります。



日本洋舞連合
http://nyr.jp
clochett@p2222.nsk.ne.jp

主催 日本洋舞連合
公益財団法人金沢芸術創造財団
後援 一般財団法人石川県芸術文化協会
北國新聞社 テレビ金沢
協力 石川県洋舞連盟

S.C.D.C. in Kanazawa

金沢
in Kanazawa
S.C.D.C. Competition
Dance
Self
Self Choreograph Dance Competition in Kanazawa

S.C.D.C.in金沢 (Self Choreograph Dance Competition in Kanazawa) の
受賞作を更に昇華させる場として、新時代を担う舞踊家たちが集い
創作力向上を目指す交流の場として、
2018年3月より金沢21世紀美術館シアター21で隔年開催されています。

カナザワ ダンス シアター 2020
2020年3月12日13日(延期)
2020年12月に開催を計画中。
場所: 金沢21世紀美術館シアター21

----- <開催予定> -----

S.C.D.C.in 金沢 2021
2021年3月開催を計画中
2020年10月募集開始
場所: 金沢市民芸術村パフォーミングスクエア

背景写真

カナザワ ダンス シアター 2018 上演
S.C.D.C.in 金沢歴代受賞者委嘱作
能管とのコラボレーション「巡る」
作・演/江戸裕梨 中村香耶
能管/江野 泉
監修/鈴木 竜

all photo by 山原信博

2007年に始まったダンサーの創作力を競う国内唯一のコンペティション。
セルフ・コレオグラフ・ダンス・コンペティション イン カナザワ